

平成 30 年 7 月 25 日

野々市市議会議長 様

(報告者)

会派名	〔又は 議員名〕	会派	互鈴
代表者		中村	義彦



## 政務活動報告書

下記のとおり政務活動（調査研究、研修、要望・陳情）を実施したので、報告します。

期 間	平成 30 年 7 月 17 日から 平成 30 年 7 月 20 日まで
視察、研修、要望・ 陳情の場所	仙台市ゼビオアリーナ、青森県八戸市役所、函館市函館アリーナ
参加者氏名	中村義彦 金村哲夫 辻信行
目 的 (調査・視察事項)	本市の体育施設整備基本計画に基づく議会での体育施設検討委員会として、仙台市、八戸市、函館市の先進のアリーナ施設を視察し、本市の参考にしたい。
調査・視察概要	<p>(目的、内容、結果、所感等について記入)</p> <p>ゼビオアリーナ仙台は、仙台駅から直進距離約 4km にある民間が運営するアリーナであり、スポーツ&amp;エンタテイメントの迫力や魅力を引き出すには十分な規模の施設。収容人数；最大 6,000 人（コンサート；4,000 人）</p> <p>八戸市の多目的アリーナは、新幹線八戸駅周辺地区の土地地区画整理事業の中で、通年型アイスリンクをベースに移動式フロアを設置して、多目的アリーナとして使用する。平成 30 年冬頃着工予定、平成 32 年春頃開業予定。市の事業スキームの構成や、枠組み等の説明をお聞きしました。</p> <p>函館アリーナは平成 27 年 7 月主竣工。大小 2 つの楕円形状の建物をホール部分で結ぶ形状をしており、全館冷暖房完備、無線 LAN システムを採用。バスケ公式 4 面規模 武道館（弓道場）は全国大会誘致が可能。</p> <p>5,000 人収容の多目的アリーナで大規模なコンベンション、ライブの誘致が可能。</p> <p>所感；視察場所はどれも、人口 20 万以上の市であり財政規模も本市とは違います。本市においての体育施設整備の内容は野々市市独自の施設か 或いは広域的な考えでの施設を考えるべきかを考察すべきと考えます。</p>
備 考	

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。